

# ☆2020年はどのような年だったか

―2020年の総括と新年へ託す希望―

## 「三密」に象徴されたこの一年

◆今年の流行語大賞は「三密」（密集・密着・密閉）。まさに新型コロナウイルス感染拡大に翻弄された一年でした。オリンピックをはじめ、ほとんどの行事は中止に追い込まれ、経済も大打撃を受けました。

◆ちなみにアメリカの流行語一位は「パンデミック」。これもコロナ関連です。

## コロナに隠れた重大問題

◆しかし、コロナによって関心をそらされた重大な問題があります。それは長きにわたる政権の秘密、隠蔽、説明回避体質です。

◆先ず「桜を見る会」。参加者の夕食会に安倍氏側から秘密裡に費用が支出されていたのに、安倍氏は一貫して「ない」と言いはってきた嘘が破綻しました。

◆二つ目は、学術会議会員承認で6名の候補者が任命されなかった問題。これも菅首相はその理由を一切説明しようとしません。6名が、なぜすべて人文系（歴史、経済などの）委員候補なのかの説明しません。

◆沖縄の辺野古基地建设。これも防衛省が秘密にしてきた軟弱地盤が発覚して、工事実行不可能は明白です。これについても、認めようとしません。

## 2021年に向けて切望すること

◆菅首相は「安倍政権の政策を継承する」と言っていますが、先ず秘密、隠蔽説明回避体質からきっぱり縁を切ってください。

◆コロナ禍の後に来るのは見たこともない規模の貧困禍です。ここで問われるのがお金の使い方です。軍事費、富裕層優遇から貧困対策へ転換して下さい。

◆辺野古の基地建设はもう無理です。きっぱりと諦めて、その費用を沖縄振興、貧困者救済に回して下さい。原発もきっぱり諦めて下さい。

◆私たちの納めた税金の使い方方を改めて下さい。つつましくても豊かさを実感できる、平和で世界から尊敬される国作りにお金を使ってください。

◆憲法、特に九条は世界の宝です。これは絶対に壊さない、変えないで下さい。武力で国や平和は守りません。できるのは平和と外交です。武力を持たない国が世界に27もあり、その国民は平和に暮らしている現実を見て下さい。

二〇二〇年十二月十三日（日）護憲平和行進（通算646回目）  
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五  
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

☆私たちが一貫して反対してきた浜松エアフェスタ、今年は中止になりました。これにも莫大なお金が使われて来ました。このお金は今後、子どもの平和の夢実現に使おうではありませんか。



憲法第九條  
〔戦争の放棄〕

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段として、永久にこれを放棄する。他の戦力は、これを保持しない。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。